南丹市立障害者支援施設運営 委員会

議事録

南丹市立障害者支援施設運営委員会事務局 (南丹市福祉保健部社会福祉課)

令和5年度第1回南丹市立障害者支援施設運営委員会議事録

- 1. 招集年月日 令和5年12月18日(月)
- 2. 開催年月日 令和5年12月18日(月)午後1時30分~
- 3. 開催場所 南丹市役所2号庁舎3階301会議室
- 4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
 - (1) 委員の総数 15名

(2) 出席者数 12名

(3) 出席した委員の氏名(敬称略)

役職	氏名	選出区分	出欠	備考
委員長	塩貝 潔子	社会福祉関係者	0	
副委員長	中川 剛	社会福祉関係者	0	
委員	平井 喜代子	障害福祉関係者	0	
委員	船越 昭	障害福祉関係者	×	
委員	塩貝 範子	障害福祉関係者	×	
委員	宅間 由美	障害福祉関係者	0	
委員	谷口 和隆	社会福祉関係者	0	
委員	坪井 秀粹	社会福祉関係者	0	
委員	奥村 史代	障害福祉関係者	0	
委員	宇野 弘一	障害福祉関係者	0	
委員	平家 佐織	事業利用者家族の会	0	
委員	湯浅 徳子	事業利用者家族の会	0	
委員	山内 正	学識経験者	0	
委員	井尻 治	学識経験者	0	
委員	山下 秋則	市議会議員	×	
合計	15 名		12名	

5. 傍聴者数 0名

6. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

司 会 定刻

定刻になりましたので、ただ今から南丹市立障害者支援施設運営委員会を開会させていただきます。

司会を務めさせていただく南丹市社会福祉課 課長の奥村でございます。よろしくお願いいたします。

まず最初に本日の会場についてご報告いたします。本運営委員会の会場につきましては、八木と日吉、交互で開催させて頂いております。本来であれば本日は八木で開催させて頂く予定でしたが、八木市民センターが休館日のため、市役所本庁舎での開催となりましたことをご報告させて頂きます。

この委員会は、南丹市立障害者支援施設条例に基づき設置するものでございます。本日は、15人の委員さんのうち、12人に出席いただいております。南丹市立障害者支援施設条例第11条第2項に定める過半数以上の出席となっておりますので、本委員会は成立していることを報告いたします。

それでは、塩貝委員長より開会のご挨拶をいただきます。

塩貝委員長、よろしくお願いいたします。

委員長

皆さん、こんにちは。年末の慌ただしい中、本日、南丹市立障害者支援施設運営委員会を開催しましたところ、多数の皆様にご出席を賜りましてありがとうございます。12月に入り、暖かな陽気が続いててこのまま暖冬になるのかなと思っていたら、昨日から猛烈な寒波がやってきて、寒暖差に驚いているところです。たまたま、美山に用事があって行っていたのですが、雪がチラチラしていまして、日吉も雪になるのかなとそんな気候になってまいりました。この寒暖差が、激しい時こそ、インフルエンザも猛威を奮っていることでもありますし、体調も崩しやすい時期でもありますので、委員の皆様、本当にご自愛いただきたいと思います。

本日もあじさい園、ひより舎、それぞれの上半期の施設の運営状況について事務局から報告を頂きますので、委員の皆様が日ごろ感じておられることや、この様に改善できれば良いとか、疑問などございましたら、この機会に発信して頂ければと思います。小委員会においては、それぞれの施設に分かれて頂きまして、冬季の賞与の配分について、ご協議を頂くことになります。皆様、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

司会

それでは議事に入らせていただきます。

南丹市立障害者支援施設条例第11条第1項の規定により、塩貝委員長 に議長をお世話になりますので、よろしくお願いいたします。

議長

それでは議長を務めさせていただきますので、円滑な議事の進行にご協 お願いいたします。

次第の「3.報告事項」施設の運営状況について、に入ります。事務局より説明をお願いします。

事務局

みなさんこんにちは。南丹市社会福祉協議会の新井でございます。どう ぞよろしくお願いいたします。

それではお手元、ホッチキス止めの資料をご確認ください。

上半期、4月から11月までのあじさい園とひより舎の事業報告をさせていただきます。

はじめに、あじさい園から報告をさせていただきます。読み上げにて報 告させて頂きます。

就労支援事業では、コロナ禍以前の状況に戻りつつあるクッキー製造事業を中心に出店販売も行われ、利用者のモチベーションが高まってきております。

同時に新たに取り組んでいる、ふるさと納税返礼品のトイレットペーパー販売事業も好評で、問い合わせが寄せられ、利用者にとっては大きな励みとなっています。また、創作活動や音楽療法活動に加え、5月には京都府で開催されている、スポーツレクリエーションフェスティバルにも参加し、コロナ禍でなかなか見れなかったといいますか、その様な機会がなかった中で、利用者の楽しむ様子がうかがえました。一方で一部の作業工賃の見直しにより、工賃が少しずつ引き上げられたことも大きな成果があったと感じております。

また、民生委員や地元企業の視察見学を通じて地域との交流が深まった 上半期であったと感じております。さらに、職員も計画的に研修に参加し て専門性の向上に努めるなど、事業全体が着実に進展していると思います。 一方、課題といいますか、今後についてでありますが、引き続き自主製品 の品質向上に取り組みながら、お客様や地域に喜ばれる製品開発と仕事に 注力していくことが大事になっていくと感じております。これには、現在 の製品と業務内容をあらゆる視点から分析する必要があります。同時に、 地元住民や企業との連携を強化し、職員全員で必要な取り組みを検討して いきたいと思います。

さらに、工賃の引き上げを実現するためには、新たな販売経路の獲得と 品質向上に注力し、財務的課題とその持続可能性についても職員中心の会 議で検討を継続していくつもりです。

主な事業の取り組みということで11月までの主だった事業を資料にま

とめております。

5月には先ほど申し上げました、丹波自然運動公園で開催された、スポーツレクリエーションフェスティバルに参加しました。また6月には、旧神吉小学校で行われております、かみきち米祭りに参加しました。このあたりから、これまでコロナ禍でなかなか実現できなかった出展販売を再開しております。7月には家族会の役員会を開催させて頂きまして、7月から9月には、毎年恒例になっている、ボーナスキャンペーン事業としまして、クッキーの販売をさせて頂きました。

主な納品先としましては、南丹市役所、南丹保健所、JA八木支店、支援学校、園部小学校、八木西小学校、アイリス福祉会、北桑田高校美山分校、社協にご協力頂いております。

また、10月から11月にかけては亀岡市篠町にございます、幸いブレインズさんという美容室から、お話を頂きまして、そちらの方に展示販売ということで、取り組みをさせて頂きました。10月1日には、南丹市の地元企業でございます、ジャトコさんから、ジャトコフェスタでの出店ということでお誘い頂きまして、出店させて頂いております。

あと10月12日には支援学校とのコラボ販売会であったり10月27日には、枚方市民生児童委員協議会の方から視察研修がありまして、たくさんの民生委員さんがお見えになって視察されました。

さらに11月には、秋のレクリエーションとしまして、3種類の行事を 提案し、それぞれの利用者が希望される外出行事にお出かけされました。 コロナ禍のため、宿泊体験等のレクリエーション行事を実施することはで きませんでしたが、可能な範囲で外出行事に参加されています。

資料の裏面に移ります。2番目では先ほど説明させていただきました新規事業のふるさと納税返礼品のプロジェクトである、トイレットペーパー販売事業の販売実績ということで、3月から11月までの販売実績をまとめております。販売個数計25箱、配送先は、計15都府県となります。近隣府県のみならず、さまざまなところから問い合わせがあり、こうしたことも本当に利用者の励みになっているところでございます。

3番目では上半期に指導者研修ということで、職員が強度行動障害支援 研修や相談支援者従事者養成研修に、参加させていただき、より専門性を 高めるということできました。

続きましてひより舎の報告をさせて頂きます。

ひより舎については、感染症対策を講じながら、恒例行事であるひより カフェのテイクアウトをメインで続け、利用者のやりがいやモチベーショ ンを維持、向上させながら取り組むことに努めてまいりました。 また、コロナ感染症が5月に5類移行した後には、これまで自粛していたお楽しみ事業も再開し、多くの利用者が楽しむ様子が見られました。

夏場には台風による臨時休業があったものの、半年間の利用率は74. 7%で、昨年度同様の利用率を維持することができました。

8月には個別懇談や家族会を開催し、さまざまな意見を収集する機会を 得られ、ひより舎にとって非常に良い影響を与えるものになったと思いま す。

今後も引き続き、感染症対策を実施し、ひよりカフェのテイクアウトメインの運営課題の洗い出しや、利用者のモチベーション向上等、感染リスク管理と個別ニーズへの対応の強化を継続していくのが大事だと職員間で共有しています。

また、利用者の高齢化や重度化が進んでおりますので、職員会議の中で、 それらの対応として、職員の支援スキル向上を図りつつ、生活介護事業の 拡大や新規利用者確保の検討を進めております。

一方、就労支援事業では自主事業の販路拡大、地域広報活動、工賃維持 などの取り組みを一層進めていっております。

主な事業の取り組みとしまして、こちらの方も資料にまとめております。 5月には、あじさい園と同様にスポーツレクリエーションに参加しました。また、6月からは、お楽しみ事業としまして、お買い物ツアーを開催させていただきました。7月には、バーベキュー大会、8月には家族会、9月には外食イベントとして、それぞれの利用者が希望される飲食店にお出かけしました。マクドナルドや、大阪王将、れいん房に行きました。

10月12日にはあじさい園も参加させて頂きました、支援学校コラボ販売会であったり、南丹市ボランティア交流会、ぬくもり京丹波フェスタ等、様々なところから声をかけて頂き、出店販売をさせて頂きました。

同じく10月に、秋のピクニックということで、日吉ダムに行きまして、 レクリエーションの充実に力を入れてきました。

11月には南丹市交通安全フェアの方から、声をかけて頂き、出店販売を実施しました。

裏面にはひより舎の目玉事業であるひよりカフェの実績を表にしてまとめおります。こちらは毎月、第3金曜日に開催しております。利用者と職員で毎月の目玉のメニューを考えながら営業しております。

その横にひよりカフェの売上金ということで、4月から11月までの売上合計が75万9,280円となりまして、たくさんの方にご協力いただいている状況でございます。

一方で3番では、研修ということで、職員が上半期に参加しました研修

をまとめています。 続きまして、横向きの資料をご覧ください。こちらが、あじさい園とひ より舎における、上半期のそれぞれの就労支援事業の資金収支状況を、取 りまとめたものになります。事業名ごとに収入を計上させていただいてい ます。また支出の方は材料費であったり、利用者の工賃、その他経費とい うことで計上させて頂いております。支出の中で、労務費としまして夏季 賞与がありますが、例えば、あじさい園の方は夏季賞与で、6月に75万 6,920円支出をしておりますが、こちらは、前年度の10月から3月 末までの実績に基づいて、支出しておりますので、こちらの金額を省いた 額を収支差額合計として計上しております。あじさい園の場合、上半期の 収支差額は74万4,267円となります。 裏面をご覧ください。ひより舎の方も同じく夏季賞与として47万2、 400円を前年度の繰越金から支出しています。上半期の収支差額は42 万28円となります。以上でございます 議 長 ただいまの事務局の説明に対して、ご意見やご質問はございませんか。 A 委員 支出の所ですが、販売費とは何を指していますか。 事務局 あじさい園の水口です。いつもご支援ありがとうございます。販売費に ついてですが、例えば業務委託費としまして、道の駅等に商品を置かせて いただくときに商品管理のために専用のバーコードシールを貼付する必要 があるのですが、そのバーコードシールの購入費用等を指しています。 A委員 分かりました。 他に何かございますか。特に無ければ「4. 小委員会付託事項」につい 議長 て、に入ります。 今回の小委員会については、「八木障害者支援施設、日吉障害者支援施設 の冬季賞与の配分」について協議いただきますので、よろしくお願いしま す。 続きまして「5. その他」、に入ります。事務局から何かありますか。 特にありません 事務局 委員の皆さまから何かありますか。それぞれの施設の運営を見られていて 議長 感じておられることとか、ご発言いただけたらと思います。よろしいでし ょうか。それでは、特にないようですので、これで議長を降壇して、以後 の進行を司会にお返ししたいと思います。

司 会	塩貝委員長、円滑な議事進行、ありがとうございました。それでは、閉
	会に辺りまして中川副委員長よりご挨拶をいただきます。
	中川副委員長、よろしくお願いいたします。
副委員長	ただいま、事務局よりわかりやすい説明をいただきました。また日頃か
	ら、あじさい園だよりや、ひよりだよりを頂いていますが、改めて事業所
	の状況を共有することができたと思います。
	特に事業全体が着実に進展してるということで、あじさい園では返礼品
	のトイレットペーパー、ひより舎ではひよりカフェが挙げられると思いま
	す。個々の利用者の特性によって、作業内容の幅が変わってきたり、バリ
	エーションも広がっております。工賃も引き上げられているということで、
	大変うれしく思ってます。
	これも、利用者や職員の皆さんの日頃のご尽力のおかげですし、また、
	今日、ご出席の皆さんのご支援の賜物ということで、改めて感謝を申し上
	げたいと思います。
	これからも、本日お集まりの皆さんにはご支援ご協力いただきまして、
	ひより舎、あじさい園の活動をさらに盛り上げていただきたいと思います
	ので、今後ともよろしくお願いしまして、閉会にあたってにあたっての挨
	拶とさせていただきます。本日はお疲れ様でした。ありがとうございまし
	た。
司 会	以上をもちまして、南丹市立障害者支援施設運営委員会を閉会させてい

ただきます。